

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野		事業番号、事業名				補助・単独別		補助				
森林を育成する治山		35 防災林整備				補助・単独別		補助				
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
1	のりくら 乗鞍 (松本市)	山腹工 5.50ha なだれ予防柵 1,158m (工期:H23~H27) 2億6200万円	山腹工 0.30ha なだれ予防柵 36m	山腹工 0.60ha なだれ予防柵 84m	山腹工 5.20ha なだれ予防柵 1,122m	評価時 (当初) H23	10%	計画どおり進んでいる。 H23年度からなだれ予防柵に着手し、H24年 度も引続きなだれ予防柵を実施する。	県内でも有数の秘湯 温泉地への冬期間の 最短経路である林道 の雪崩による通行車 両の被災は2次・3次 災害が発生したほど 危険度が高く、全国 ニュースにもなったほ どであり、その後の小 規模な雪崩の際にも マスコミが殺到するな ど非常に注目度も高 く、重要性・緊急性が 非常に高い。このた め、継続して事業を実 施する。	重要性が高く、緊 急性も認められる。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
						緊急性 A	B/C(費用対効果)= 2.27	住民参加状況等 特になし				
2	つばの 坪野 (栄村)	山腹工 1.00ha なだれ予防柵 167m 植栽工 240本 ほか (工期:H23~H25) 1億6108万円	山腹工 0.30ha なだれ予防柵 45m	山腹工 0.10ha なだれ予防柵 27m	山腹工 0.60ha なだれ予防柵 95m 植栽工 240本 ほか	評価時 (当初) H23	30%	計画どおり進んでいる。 H23年度からなだれ予防柵に着手し、H24 年度も引続きなだれ予防柵を実施する。	村道直上部の森林 からのなだれにより、 冬季には断続的な通 行止めに見舞われて いる箇所である。なだ れ予防柵工の設置と 森林造成を一体的に 実施し、なだれに強い 森林づくりを早急に進 める必要があるため、 継続して事業を実 施する。	重要性が高く、必 要性、緊急性も認め られる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H23.3月 長野県北部の地震
						重要性 A						
						効率性 A						
						緊急性 A	B/C(費用対効果)= 2.82	住民参加状況等 特になし				
合計	2箇所	4億2308万円	7418万円	5800万円	3億2390万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				

林務部 森林づくり推進課